

概要版

# 南山城村 むらづくり ビジョン

2026 » 2035

誇れる魅力  
絆を育む  
持続可能なむら  
みなみやましろ



令和8年3月 南山城村

## はじめに

南山城村は、豊かな自然環境に恵まれ、多世代にわたる村民の温かな交流が育まれる素晴らしい地域です。本村では、これまで第4次総合計画に基づき“自然が薫り 絆が生きる 自立するむら！ みなみやましろ”の実現を目指し、刻々と変化する地域課題に対応した村政運営を進めてまいりました。



しかし近年、全国的な少子高齢化の進行や人口の東京圏への一極集中が加速し、本村においても深刻な人口減少問題に直面しています。

こうした社会の変化に対応すべく、新たに第5次総合計画となる「南山城村むらづくりビジョン」を策定いたしました。このビジョンでは、京都府唯一の村に「住み続けたい」「住んでみたい」「戻ってきたい」「関わってみたい」という願いを叶えるむらづくりを目指し“誇れる魅力 絆を育む 持続可能なむら みなみやましろ”を将来像に掲げ、村民が安心して快適に生活できるインフラ整備をはじめ、若者や子育て世代が移住したくなるような魅力的な施策を強化することで、都市部から地方への移住のきっかけづくりに取り組んでまいります。

また、地域ならではの農業や観光、文化を生かした産業振興、さらにはリモートワークやオンライン教育等、デジタル技術を活用した場所を選ばず働ける環境や学びの場を提供する時代に適した行政サービスを積極的に展開し、地域固有の魅力を発信しながら、人口減少に対応する「縮充型」の自治体運営を進めてまいります。

今後の“南山城村”の未来は、村政運営の主役である村民一人ひとりの支援なくして実現できません。手と手を携えて、共に目標に向けて取り組んでまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本ビジョンの策定にあたり、格別のご指導、ご協力をいただきました「南山城村総合計画審議会」委員、「南山城村総合戦略有識者会議」委員の方々をはじめ、アンケートやワークショップ、ヒアリング等へのご協力をいただきました皆様方に心から厚く感謝申し上げます。

令和8年3月

南山城村長 平沼 和彦

# ■ むらづくりビジョンについて

## ビジョン策定の趣旨

南山城村では、平成 24（2012）年度策定の「南山城村第 4 次総合計画（以下、「第 4 次総合計画」という。）」と令和元（2019）年度策定の「第 2 期南山城村人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合し、“自然が薫り 絆が生きる 自立するむら！ みなみやましろ”を将来像に掲げ、様々な分野の施策を展開してきました。

現状、わが国では、全国的な少子高齢化に伴う人口減少の進行や、人口の東京圏への一極集中の加速といった人口問題が深刻化しており、本村においても人口減少は大きな課題です。また、自然災害の頻発化のほか、円安や米価の上昇、物価高騰による経済変動等、地方行政や村民の生活に大きな影響を与え得る課題が顕在化しています。

このような刻々と変化する時代の潮流や様々な社会情勢の変化に対応し、長期的な未来を見据えつつ、本村が持続可能なむらとして魅力と活力を高めていくため、新たに「南山城村むらづくりビジョン（以下、「本ビジョン」という。）」を策定します。本村の最上位計画である本ビジョンで定めた長期的なむらづくりの方向性を踏まえ、村民と行政が協働し、むらづくりを進めてまいります。

## ビジョンの構成

本ビジョンは、むらづくりの方向性を示す「総合計画」と、人口減少対策に向けた地方創生の取り組みについて示す「総合戦略」を一体化した計画です。「基本構想」と「基本計画」により構成し、基本計画には人口減少の克服と地方創生を目的とする「まち・ひと・しごと創生法」における主要課題に重点的・集中的に取り組む「重点戦略（総合戦略）」を包含します。

### むらづくりビジョン構成

基本構想	本村が目指す「将来像」を掲げ、むらづくりの方向性を示す
基本計画	基本構想で掲げた「将来像」の実現に向けた、分野別の施策を示す 包含 重点戦略（総合戦略）

## ビジョンの計画期間

本ビジョンの計画期間は、令和 8（2026）年度から令和 17（2035）年度までの 10 年間です。必要に応じ中間年となる 5 年での見直しを行います。

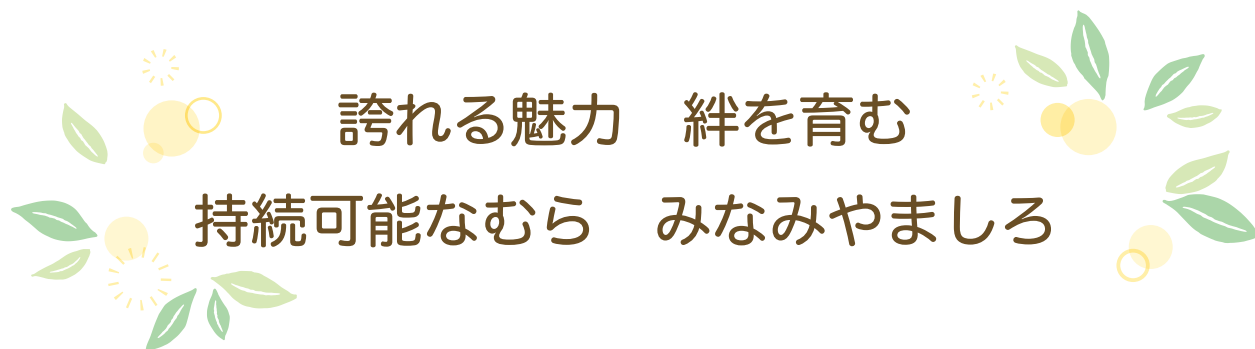
### むらづくりビジョン計画期間

～令和 7 (2025) 年度	令和 8 (2026) 年度	令和 9 (2027) 年度	令和 10 (2028) 年度	令和 11 (2029) 年度	令和 12 (2030) 年度	令和 13 (2031) 年度	令和 14 (2032) 年度	令和 15 (2033) 年度	令和 16 (2034) 年度	令和 17 (2035) 年度
現行 計画	南山城村むらづくりビジョン									
	「総合計画」むらづくりの方向性：必要に応じ見直し									
	「重点戦略（総合戦略）」：5 年を基本とし、ビジョン中間年で見直し									

## ■ むらづくりビジョンの方向性

### むらの将来像

豊かな自然と人と人との関わりが魅力である京都府唯一の村に「住み続けたい」「住んでみたい」「戻ってきたい」「関わってみたい」という願いを叶えるむらづくりを目指して、将来像を次のとおりとします。



本村は、豊かな自然と温かい人付き合いがあふれる魅力的な村です。その魅力を多くの方が誇りに思えるむらづくりを今後も進めていきます。

また、未来の村をみんなで良くしたいという思いから生まれる村との絆を育み「住み続けたい」「住んでみたい」「戻ってきたい」「関わってみたい」という願いを叶えるむらづくりを進め、南山城村に住み、関わる方を増やしていくことで、持続を可能とするむらの実現を目指します。



## 施策の大綱

南山城村に関わる方の叶えたい願いを数値目標として設定し、将来像実現に向けて着実に進めていきます。

将来像

誇れる魅力 絆を育む 持続可能なむら みなみやましろ



### 叶えたい願い ① 住み続けたい

数値目標

村民が住み続けたいと思う割合

76.3% (令和6年度) (2024) 85% (令和17年度) (2035)

※村民アンケートの「ずっと住み続けたい」「当分の間は住みたい」割合の合計

### 叶えたい願い ② 住んでみたい

数値目標

転入者数

55人 (令和6年度) (2024) 65人 (令和8~17年度) (2026~2035)

※住民基本台帳(1/1)における転入者数(目標値は計画期間年度の平均)

### 叶えたい願い ③ 戻ってきたい

数値目標

中学生が戻ってきたいと思う割合

35.5% (令和6年度) (2024) 60% (令和17年度) (2035)

※中学生アンケートの「一度は他の地域に出るかもしれないけれど、また戻ってきたい」割合

### 叶えたい願い ④ 関わってみたい

数値目標

総人口+関係人口+交流人口

698,653人 (令和6年度) (2024) 707,135人 (令和17年度) (2035)

※人口・転入者数・観光入込客数・ふるさと納税件数の合計

# 基本計画（総合計画）



## 基本計画で進める施策

基本計画では、5つの基本目標を設定し、各施策の推進を図ります。

基本目標	施策	主な取組事業
<b>1</b> 1 お互いに手と手をつなぐ安全・安心のむらづくり	<b>1 子どもたちの明るい未来はたからもの</b> 4 教育の機会均等を実現する 5 性別平等を実現する 	1. 子育て支援 2. 子ども・若者の健全育成 3. 教育の充実 4. 望むライフプランへの支援
	<b>2 温かいおせっかいがたくさん</b> 1 高齢者の暮らしを支える 3 子育て支援を実現する 10 障害者の権利を実現する	1. 高齢者福祉の充実 2. 障がい者（児）福祉の充実 3. 地域福祉の推進と絆づくり
	<b>3 ずっといきいき元気はつらつ</b> 3 子育て支援を実現する	1. 医療の充実 2. 健康長寿社会の形成
	<b>4 安全に安心して暮らし続けられる</b> 11 安全なまちづくり 16 防災・減災対策	1. 防災・災害時の対応体制の確立 2. 犯罪を防ぐ環境づくり 3. 交通安全対策
<b>2</b> 2 豊かな自然と暮らしが共存する	<b>1 豊かな自然と暮らす</b> 7 自然環境の保全・育成 12 循環型社会の形成 13 気候変動に具体的な対策を 15 生物多様性を高める	1. 自然環境の保全・育成 2. 循環型社会の形成
	<b>2 いつまでも住み続けられる</b> 6 安全な水の供給 11 安全なまちづくり	1. より良い生活環境の形成 2. 利用しやすい交通網の整備 3. 安全な水の供給 4. デジタルインフラの整備
	<b>3 魅力でつなぐ人と人との絆</b> 11 安全なまちづくり 17 地域コミュニティの活性化	1. 情報発信・PRの推進 2. 関係人口の創出・拡大 3. 移住・定住の推進



### 3 地元の資源を活かすむらづくり

#### 1 誇り高い農林業を推し進める



- 1. 茶業の振興
- 2. 農林業の振興
- 3. 獣害対策

#### 2 むらの活性化も地域のにぎわいも



- 1. 商工業の振興

#### 3 産業が広がる・つながる



- 1. 人材育成と起業支援

#### 4 こんなにも魅力的って知ってもらいたい



- 1. 観光産業の振興

### 4 いきいきと心豊かな生活を 楽しめるむらづくり

#### 1 いつまでも学び続けたい



- 1. 生涯学習の推進
- 2. 文化・芸術・スポーツの振興
- 3. 広域的な交流活動の推進

#### 2 村にしかない文化を守りぬく



- 1. ふるさと文化の育成と創造
- 2. 文化財・伝統文化の保存と継承

#### 3 自分と人と村を大切に思う



- 1. 人権の尊重
- 2. 男女共同参画社会の確立
- 3. ふるさとを愛する心の育成

### 5 安定した行財政運営と住民と ともに歩むむらづくり

#### 1 住民とともに歩んでいく



- 1. 住民参画の推進
- 2. 情報公開と広報・広聴

#### 2 これからも続いていく村のために



- 1. 行政運営の合理化
- 2. 健全な財政運営の推進
- 3. 次世代の担い手育成

#### 3 手を取り合ってさらに力強く進む



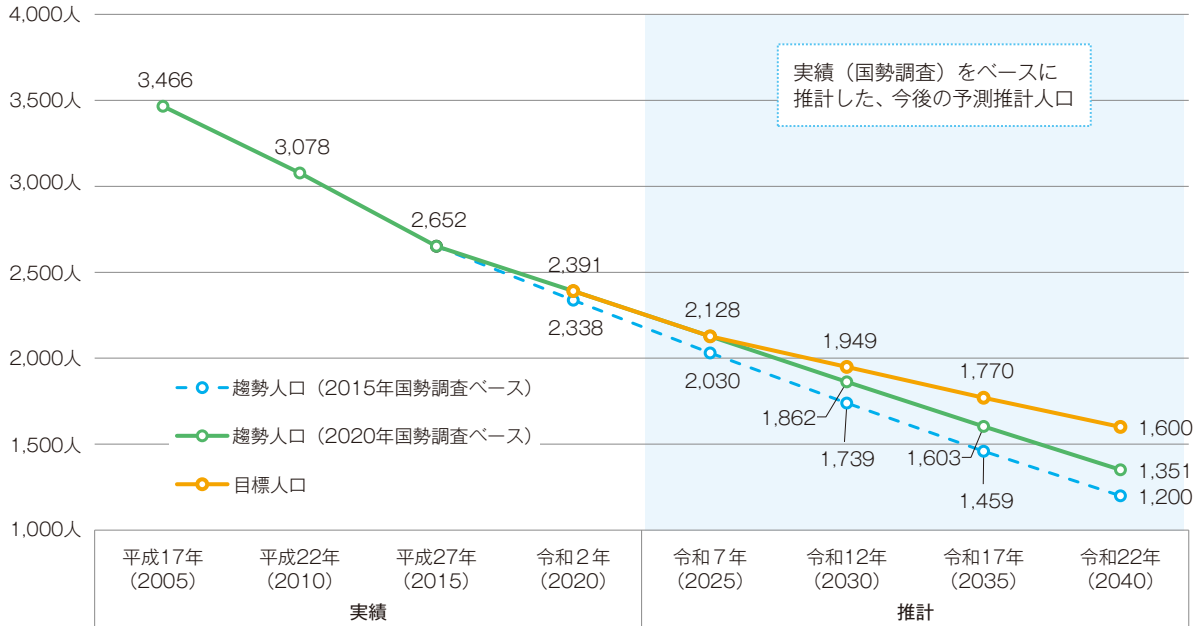
- 1. 広域的な連携

# 将来人口

本村は人口減少傾向にあり、少子高齢化の進行がその一因となっています。出生や社会動態の改善を図り、人口減少を可能な限り緩やかにし、令和 22（2040）年の目標人口を 1,600 人とするため、本ビジョンにおいて人口減少対策を推進します。

また、今後も進行していくと想定される少子高齢化についても、出生率の増加と転入促進・転出抑制を図り、年少人口（0～14 歳）と生産年齢人口（15～64 歳）比率の改善を目指します。

これまでの人口動向と今後の人口推移・目標人口



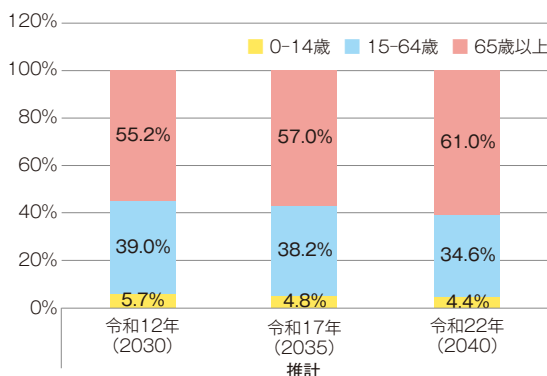
※実績は国勢調査

趨勢人口の推計値は、社人研推計

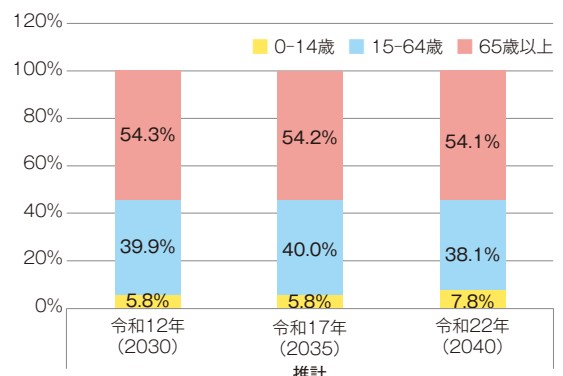
(平成 27 (2015) 年国調ベース：平成 30 (2018) 年公表値 / 令和 2 (2020) 年国調ベース：令和 5 (2023) 年公表値)

目標人口の推計値は、村独自推計

年齢3区分別推計人口（趨勢人口）



年齢3区分別推計人口（目標人口）



	推計 (人)		
	令和 12 年 (2030)	令和 17 年 (2035)	令和 22 年 (2040)
0-14 歳	107	77	60
15-64 歳	727	612	467
65 歳以上	1,028	914	824

	推計 (人)		
	令和 12 年 (2030)	令和 17 年 (2035)	令和 22 年 (2040)
0-14 歳	113	102	125
15-64 歳	778	708	610
65 歳以上	1,058	960	865

# 重点戦略（総合戦略）

## 総合戦略の方向性

本ビジョンにおける重点戦略（総合戦略）は、南山城村を守り、未来へつなげていくため、村長理念である「今日の村をつくる 明日の村をつくる」に基づき、今日（現在）と明日（未来）を見据えた取り組みを総合的かつ計画的に進めていくものです。

地域の活力を支える生産年齢人口がいきいきと暮らせる環境の実現に向けて幅広い施策を展開し、生産年齢人口の確保・定着を図り、地域の活力を維持するとともに、村で暮らす全ての世代が安心して幸せな生活を送ることができる持続可能なむらの実現を目指します。

これからも南山城村を守り、未来へつなげていくために

## 今日の村をつくる 明日の村をつくる



生産年齢人口が抱える不安

- 子育てと仕事の両立
- 親の介護
- 望む就労・働く場の確保 等

生産年齢人口の不安・負担を和らげ、支えとなるような施策を展開



手厚い子育て支援



安心の高齢者支援

生産年齢人口の就労を支援する施策を展開



産業振興や就労支援

「生産年齢人口」がいきいきと暮らせるむら

= 全ての世代が安心して幸せに暮らせるむら



持続可能なむらを実現



村に魅力を感じた方が村に転入／村を応援

子ども・若者世代が村の魅力を知っているから村にとどまる・戻ってくる

## 重点戦略で進める施策

重点戦略では、4つの戦略目標を設定し、各施策の推進を図ります。

戦略目標	施策	目標指標（KPI）【現状値⇒目標値】
<b>1</b> “子育てから育みむら”プロジェクト “ここで子育てしたいと思える”	<b>1 結婚から子育てまでの手厚い支援の実施</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子育て世代の満足度 73.1% (令和7年) (2025) ⇒78% (令和12年) (2030)</li> <li>■ 子育て世帯数 93世帯 (令和6年度) (2024) ⇒85世帯 (令和12年度) (2030)</li> </ul>
	<b>2 多様な学びを推進する教育環境の充実</b> 	
<b>2</b> 人を惹きつける “魅力むら”プロジェクト	<b>1 移住・定住の促進</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社会増減数(累計) ▲82人 (令和2～6年度) (2020～2024) ⇒▲60人 (令和8～12年度) (2026～2030)</li> <li>■ 移住定住支援制度の利用者数(累計) 70人 (令和2～6年度) (2020～2024) ⇒85人 (令和8～12年度) (2026～2030)</li> <li>■ ふるさと納税寄附件数 754件 (令和6年度) (2024) ⇒1,000件 (令和12年度) (2030)</li> </ul>
	<b>2 関係人口の創出・拡大</b>  	
<b>3</b> “元気があふれる” “元気むら”プロジェクト	<b>1 観光産業の振興</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光消費額 2,145,903千円 (令和6年) (2024) ⇒2,167,000千円 (令和12年) (2030)</li> <li>■ 観光入込客数 697,930人 (令和6年) (2024) ⇒705,000人 (令和12年) (2030)</li> <li>■ 新規就農者数 2人 (令和6年度) (2024) ⇒5人 (令和8～12年度 累計) (2026～2030)</li> </ul>
	<b>2 農林・商工業の振興</b>     	

# 4 いつまでも暮らし続けられる 持続可能なプロジェクト

## 1 暮らし続けるための環境整備



## 2 共生社会の推進



## 3 村を支える力強い人材の育成と活用



## 4 多様な主体と手を取り進める 広域連携



- 村タク利用者数  
4,371人(令和6年度)(2024)  
⇒5,000人(令和12年度)(2030)
- 国保特定健診受診率(人間ドック受診率を含む)  
51.6%(令和6年度)(2024)  
⇒55%(令和12年度)(2030)
- 住民幸福度(平均値)  
6.57点(令和6年度)(2024)  
⇒7点(令和12年度)(2030)



誇れる魅力  
絆を育む  
持続可能なむら  
みなみやましろ



南山城村

南山城村 むらづくりビジョン 概要版

令和8(2026)年3月発行

〒619-1411 京都府相楽郡南山城村大字北大河原小字久保14番地1

南山城村 企画政策課

TEL 0743-93-0107(直通) FAX 0743-93-0444

URL <https://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp>